

[第I部 | 13:30~14:30]

令和6年度 豊島区がん対策推進特別講演会 死について語ろう よりよく生きるために

講師

大井 賢一

認定NPO法人がんサポートコミュニティ事務局長
日本臨床死生学会常任理事

人生の最終段階で、受けたい医療や介護を前もって計画するのがアドバンス・ケア・プランニング(人生会議)です。厚生労働省の調査(2017年)によると、60%の人が「人生の最終段階における医療について関心がある」と回答していますが、「話し合っている」という人は40%です。死は人生をどう生きるかを決める動機の一つですが、その死を常日頃に意識することはありません。哲学者ハイデガーは人間を「死へと向かう存在」としました。人生の有限性に向き合うことで、何が人生を生きる価値あるものになっているかを明らかにします。アドバンス・ケア・プランニング(人生会議)のその前に、常日頃から死について身近な家族や友人と語り始めることからはじめませんか。より良く生きるためのヒントが見つかるかもしれません。

[第II部 | 14:50~16:00]

第18回クリスマスコンサート がん体験者が歌う 合唱団いきのちから コンサート2024

演者

合唱団いきのちから

指揮：湯川晃 ピアノ：湯川涼子
(テノール歌手) (ピアニスト)

源田俊一郎 編曲
混声3部合唱のための唱歌メドレー
ふるさとの四季

ロッシーニ作曲
女声合唱とピアノのための3つの聖歌より
信仰

来場者と一緒に合唱体験
みんなで歌おう
クリスマスソング

大木厚夫 作詞 / 佐藤真 作曲
大地讃頌

合唱団いきのちからは、がんサポートコミュニティと豊島区が共催するがん体験者のためのリラクゼーションプログラムの一つです。古代ギリシャ語のプシュケーは「息、いのち」を意味します。呼吸することは生きていることの証です。合唱団いきのちからは、がんと診断されても「息=いのち」の力を信じて、自らが自らの人生の主役として生きることをめざしています。がん体験者が集い、それぞれの思いを歌に乗せ、声を合わせ、合唱を披露します。



SDGs未来都市としま



豊島区は持続可能な開発目標 (SDGs) を実践しています。



認定NPO法人がんサポートコミュニティ

南大塚ホール

Minami Otsuka Hall

13:30-16:00 開場13:00

定員260名 ※定員になり次第終了

要申込

参加無料

お申し込みはこちら
右記の二次元コードへアクセス

■手話サービスを利用いただけます。

※手話サービスの利用をご希望の方は、12/6(金)までにお申し込みください。

特設サイト ▶ <https://csc-japan.org/event/>

【講演会・コンサートに関してのお問い合わせ】

認定NPO法人がんサポートコミュニティ
TEL.03-6809-1825

2024.12.16

MON 月